

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 東京シティ・バレエ団
公演団体名	東京シティ・バレエ団

内容
<p>音楽に合わせて身体を動かす事の心地よさや、バレエのはじまり、衣裳の歴史、バレエの基本動作を体験することで、様々な角度からバレエ芸術および本公演への期待を膨らませることがねらいです。</p> <p>◆第1部（約45分間）</p> <ul style="list-style-type: none">●床運動【参加】（ダンサーは体育館の舞台上で実演します） 床に座ってストレッチを行います。●クラシックバレエのレッスン【見学・参加】 通常バレエ団で行っているレッスンの一部を見学していただきます。 また、バレエの基本動作を体験してもらいます。●マイム【参加】 バレエは、言葉のない「芝居」です。言葉でなく身体で自分の気持ちを表現する方法の一つにバレエ特有のマイムがありますが、この動きに感情をのせ、相手に自分の思いを伝える事を体験してもらいます。 <p>◆第2部（約45分間）</p> <ul style="list-style-type: none">●「コッペリア」のバレエについてのお話し～「コッペリア」に出てくる踊りを見ながら～【見学】 解説を交えながら「コッペリア」に出てくる4曲の踊りをご覧ください。●「コッペリア」コーダ（終幕の踊り）の曲にあわせて・・・【参加】 簡単なステップを指導し、全員で踊ります。●質問コーナー みなさんからのバレエについての質問にダンサーが直接答えます。

タイムスケジュール（標準）
開始 30分前学校着～準備～WS実施～着替・撤収（30分）

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
解説・指導：1名 実演・指導：3名 スタッフ：2名

学校における事前指導

バレエに関する質問を考えておいてください。

ワークショップ当日は、体操着を着用してください。

派遣者は体調確認・手指の消毒をし、マスク着用で実施します。

但し、実演者が踊っている間のマスク着用は学校との協議により決定致します。

質問コーナーで使用するマイクは、解説者と学校側で専用のもを使い、共有はしません。

解説・実演者・スタッフは、児童生徒との距離を保って実施します。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 東京シティ・バレエ団
公演団体名	東京シティ・バレエ団

演目
第1部 「バレエってなあに?～バレエを楽しもう!～」 第2部 「 Coppélia 」より 〈Coppéliusの仕事部屋〉 第3部 「Coppélia」より 〈鐘の祭り〉 公演時間 (100 分 休憩 20分含む)

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者： 27名 スタッフ： 20名 合計： 47名

タイムスケジュール (標準)									
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	8:30 到着/搬入・舞台設営		11:00 リハーサル	12:00 学校リハーサル	13:15 開場	13:30 開演		15:30 終演/撤去	17:00 退館

実施校への協力依頼人員
ワークショップで学んだ事と、実際の舞台を体験する機会として以下のシーンで共演をお願いします。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1部マイム実演：ワークショップ参加児童の中から男女各3名程度 →発声をしない舞台上のダンサーのマスク着用の可否については学校側との協議により決定します。 →学校側との協議により、ダンサーのみでの実施も可能です。 ・第3部：市長役（先生）1名、市長夫人（先生）1名、花をまく子ども2名 →当団が用意する衣裳を着用して頂きます。衣裳は着用毎にエタノール消毒をしていますが、抵抗感がある場合は、制服及び私服も可能です。 →学校側との協議により、共演シーンを除く事も可能です。

演目解説

「バレエ」という様式は、世界共通のものであり、ヨーロッパ、アメリカ、南米、アフリカ、アジア各国において広く文化として根付いているものです。

第1部「バレエってなあに？～バレエを楽しもう！～」では、そのバレエの歴史やバレエ用語、マイムを、ワークショップで基本動作を体験した皆さんにはより深く理解できるよう、また、初めてバレエに接する皆さんには、どの学年の方にも解りやすい解説と共に、クラシックバレエのレッスン風景を見学して頂きます。そして、ワークショップに参加して頂いた皆さんの中から数名に、体験して頂いたマイムをバレエダンサーと一緒に披露して頂きます。

第2部は「 Coppélia 」から第2幕「 Coppélius の仕事部屋」、第3部は「 Coppélia 」第3幕「鐘の祭り」をご鑑賞いただきます。

この作品は、世界中のバレエファンに愛される古典作品の一つです。青年フランツが窓辺で見かけた美しい少女に心を奪われた事を知った恋人のスワニルダが、やきもちを焼いて、少女の家に忍び込みます。すると、その美少女は、Coppélius という人形作りの老人が作った人形Coppélia でした。てんやわんやの騒ぎの末に、フランツとスワニルダは仲直りをして、めでたく結婚する、という物語です。実際の作品を鑑賞しながら、第1部で体験したバレエの要素が作品の中でどのように活かされ、踊りやマイムになり、ダンサーたちが何を表現しているかを感じて頂くことを目的とします。色とりどりの衣裳で踊る第3幕は、まさに華やかな夢の世界。踊りにつぐ踊りで、バレエの醍醐味を味わっていただけます。

「Coppélia」は、当団では初演以来 200 回以上も上演している人気の高い演目で、全国の子どもたちを対象とした公演でも好評を頂いております。バレエに言葉はありませんが、客席の子どもたちは、ダンサーのしなやかな動きと、身体からまるでせりふが聞こえてきそうな表現力で、非日常的な世界であるバレエの舞台にどんどん惹き込まれていきます。言葉を超えて表現される感情は、子ども達の心に響き、感性の世界へと導きます。この「Coppélia」体験をとおして、バレエに身近に触れる事により、バレエの魅力的な世界への扉に導く事を目指します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

バレエは美しい音楽に合わせて言葉を使わずに踊りで表現します。お芝居のシーンでは「マイム」という動きが使われ、「Coppélia」という作品には様々なマイムが出てきます。第1部では、ワークショップでマイムを学んだ皆さんに舞台上で実演してもらい、身体表現を体験して頂きますが、舞台上での共演が難しい場合は、自席で一緒に動いてもらう事で体験とします。

第3部の幕開き部分では、市長・市長夫人・花をまく子どもとして、先生、児童の皆さん数名に出演してもらい、ダンサーと一緒に舞台を盛り上げて頂きます。

原則的には当団が用意する衣裳を着用して頂きますが、学校との協議により、私服での出演も可能です。また、舞台上での共演が難しい場合は、このシーンを省略して実施する事も可能です。

児童生徒とのふれあい

本来は、大道具の搬入や作品で使用する簡単な道具の組み立て、衣裳のアイロンがけ等、本公演が始まる前の過程を体験して頂きますが、危険のない範囲での見学や、搬入の様子をビデオ撮影し、後日鑑賞して頂くなども可能です。(ビデオ機材の設置等は実施校にお任せ致します)

また、実際に着用する衣装や小道具を間近で見えて頂ける時間を作るなど、開催校の希望により実施する事も可能です。